
ハートの雲

胡桃★

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハートの雲

【Nコード】

N1632B

【作者名】

胡桃★

【あらすじ】

主人公の佐倉みかんが交通事故にあい、記憶喪失になる。幼なじみの梅山秀也とみかんとラブストーリーです。

第1話 私是谁？（前書き）

みかんが事故に合います。ケガは大丈夫なのか！？
思いますが、最後まで読んでくれたら嬉しいです。

読みにくいと

第1話 私是谁？

それは突然の出来事でした。

ーキーッ

ードンッ

『大変だ…。きゅ、救急車！誰か救急車を呼んでくれ！！』

『あれまあ。こりや助からないかもよ』

かすかに人の声が聞こえてくる。一瞬夢かと思ったら、体がふわっと宙に浮いた。そして頭がズキズキと痛む。手足もとてもだるい。人の声が頭にひびく。

『私はいったいどうしたの？』

ーガラッ

ドアがあく音がした。その音が頭にズキズキして私は目を覚ました。

「佐倉さん、目が覚めたようですね。本当によかった…。」

『佐倉さん？佐倉さんって誰？てゆうか、私の名前何だっけ…』

おそらくここは病院らしい。私の寝ているベットの横には白衣を着た男の医者が安心した面持ちで立っていた。『私は交通事故に合ったんだ』と、この時初めて理解した。

「あの、私は、私の名前は佐倉って言うんですか？」

「「ああ…やはり…」」

ーガラッ

医者が話をし終える前に病室のドアが勢い良く開いた。

「みかん!!」

そこには汗をびっしょりかいた若い男の人がいた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1632b/>

ハートの雲

2011年1月6日14時27分発行